

工事施工の問題点とその解決

(社)静岡県土木施工管理技士会

岡村建設工業株式会社

工務部 池谷 満弘

1. 工事概要

工 事 名 平成23年度 中新田地区水路改良工事

施工箇所 焼津市 中新田 地内

発 注 者 静岡県 焼津市 産業振興部 農政課

工 期 平成23年12月28日 ~ 平成24年 3月26日

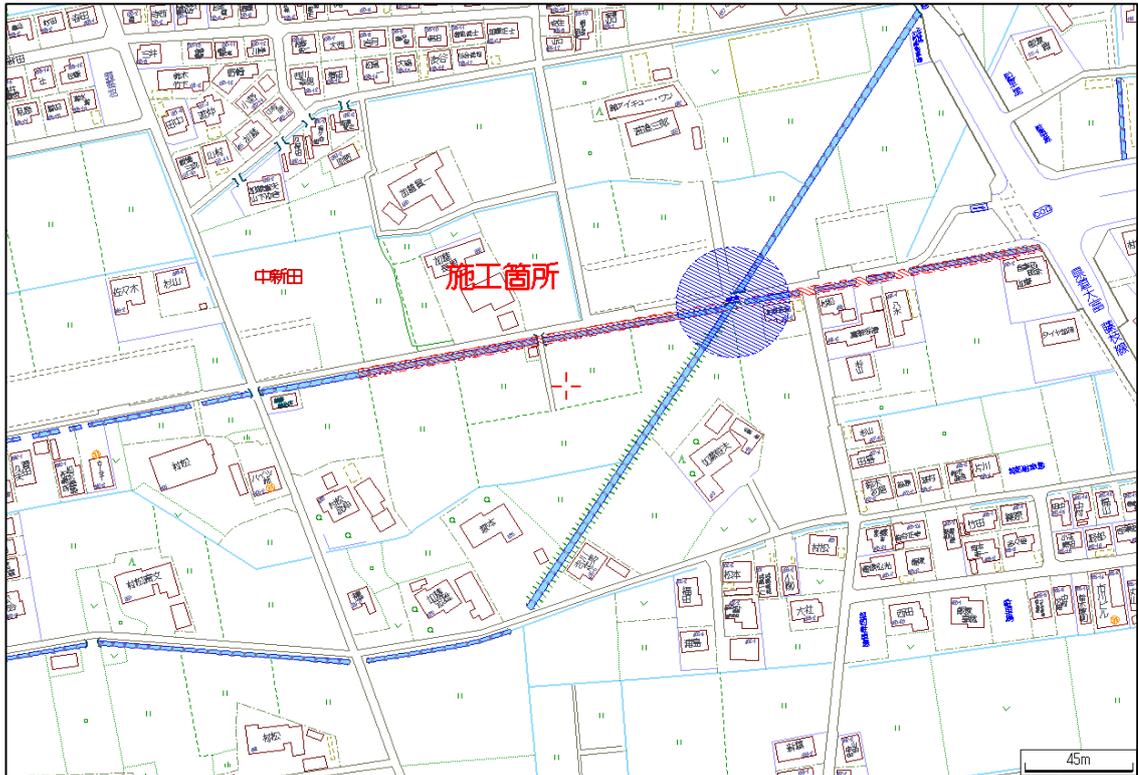
施工延長 L=243.5m

土工 1式

用水路工 1式

付帯工 1式

構造物撤去工 1式



2. 問題点

本工事は、既設水路（柵渠）を撤去し、プレハブ水路（W=1,400・1,800）を新設し、自動転倒堰を3箇所設置する工事です。

施工箇所は、他工事業者（前ページ青斜線部）が施工中であり、橋梁（藤北橋）と河川（大富川）の改良工事が施工中でした。本工事施工中に橋梁の取り壊し作業が始まる予定でしたので、周辺道路の使用範囲が狭小になり、材料の搬入、水路設置作業、地域住民の出入り等支障をきたす場合があることが予測されました。

3. 解決策

施工箇所へは、県道大富藤枝線側からの一部については一方通行で進入できず、解除申請も困難である上に、水路添いの道路は近隣住民の主要通行路でありました。以上のことから、通行止めの周知等をするにあたり、他工事業者の施工状況も考慮しなければならず、それぞれの進捗状況を見ての打ち合わせが必要になりました。

他施工業者と調整後、回覧板をまわすだけではなく、各お宅に訪問し具体的な工事時期、工事箇所等を説明しました。施工中の水路添いの地域住民の出入りについては、車両は仮駐車場を設け、通行止め予告看板は高輝度看板を設置しました。歩行者については、仮設通路を設置し対応しました。



歩行者用仮設通路設置状況

また、防塵対策として定期的に散水車で水撒き作業を行ったり、朝の通勤時間に合わせて現場周辺において交通立哨活動を実施し、工事のイメージアップを図ることにより、地域住民から工事に対して理解が得られるように努めました。



交通立哨活動実施状況

4. 施工上の留意点

施工上留意した点は、水路は農業用水路であり休耕作時期でありましたが、実際には水が流れていました。施工箇所がドライ状態であるとないとでは、工事進捗に加え出来栄えにも影響するので、上流で仮堰き止めし、排水を迂回させる作業が必要となりました。

実際にどこから水が流入しているのか、堰き止めた場合にどういう経路で下流に流れていくのかまた、家庭排水も放流されているので堰き止めることにより排水不良をおこさないか、休耕作中の田畑へ水が不必要に流入されないかを事前に調査し、施工環境を整えました。

5. 終わりに

本工事は、季節はずれの大雨にも見舞われ、冠水を防ぐべく一時仮堰き止め部を撤去して、水量が落ちついたらまた設置するという作業の繰り返しでした。掘削箇所へ土砂が流入してしまった場合は、土砂の撤去、復旧作業等が発生するため、夜中に施工箇所の巡回、点検をする必要もありました。

上記作業の対応に追われましたが、地域住民のご協力もあり、事故や苦情等もなく工事を終えることができました。田畑の耕作時期を迎え、取水不良等の問い合わせもな状況を確認することができ、これから地域の方を満足させることができるよう努力していきたいと思っております。